

公平性の指標について

責任、負担能力、実効性など、様々な公平性指標についての議論あり

【責任】

- ・ 総排出量
- ・ 一人当たり排出量^①
- ・ 歴史的排出量^②

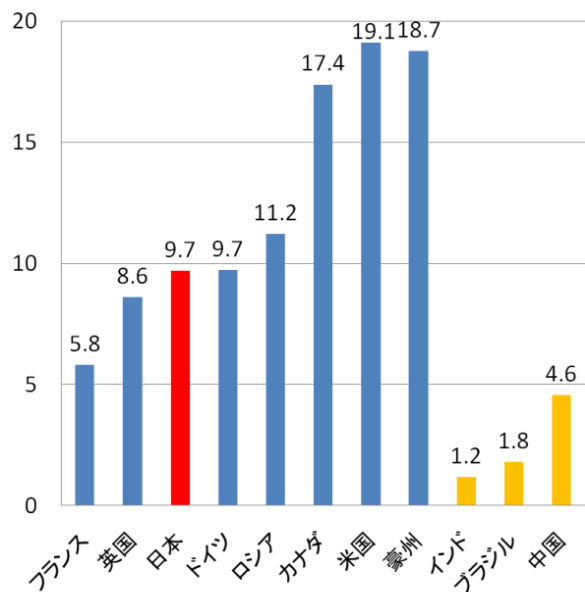
【負担能力】

- ・ GDP当たり対策費用^③

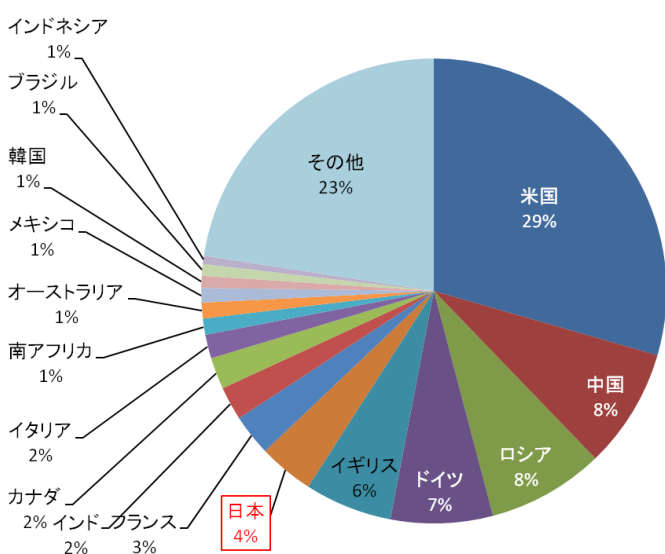
【実効性】

- ・ 限界削減費用
- ・ GDP当たり排出量^{④, ⑤}

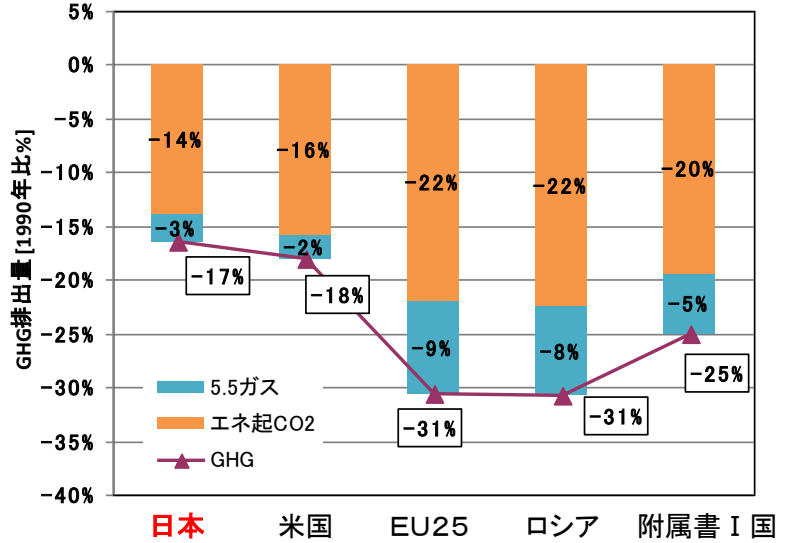
① 一人当たりCO2排出量(2007年)
(tCO2/人口)



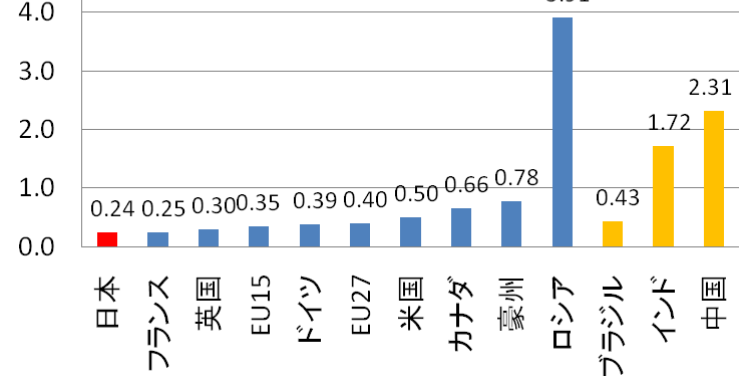
② 歴史的排出量(1850~2005年、CO2排出量)



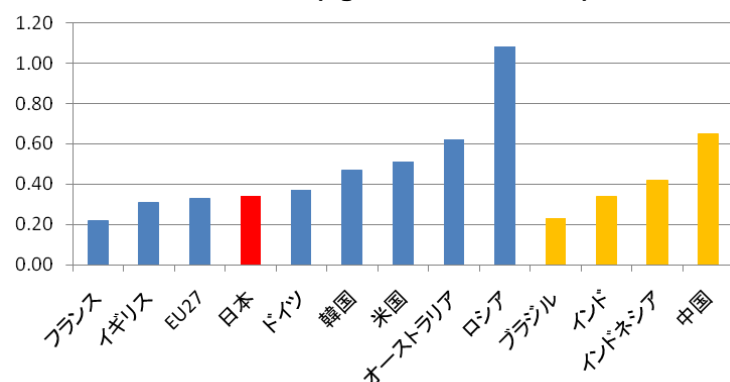
③ GDP当たり対策費用
先進国(附属書I国)全体で1990年比25%削減とし、
GDP当たり対策費用を一定(1.01%)とした場合



④ 2007年 CO2/GDP(為替レートベース)
[kgCO2/US\$ (2000年価格)]



⑤ 各国のGDP購買力平価当たりCO2排出量(2006年)
(CO2/GDP (kg CO2 / 2000 USD))



①、④、⑤ 出典: IEA (2008), "CO2 emissions from fuel combustion 1971-2007"
注) CO2排出量は、エネルギー起源CO2排出量
② 出典: World Resources Institute, Climate Analysis Indicators Tool
③ 出典: 国立環境研究所